

## 2012年12月の日経平均株価

2012年12月の日経平均株価は、月末終値が11月末に比べ949円17銭高(10.0%上昇)の1万395円18銭となり、2011年3月以来の高水準となった。12月26日に発足した安倍内閣が日銀に金融緩和を求める意向を示したことで、円が売られ、円安メリットを期待した買いが集まった。新政権の景気対策への期待も先行。19日に8ヵ月ぶりに1万円台を回復した。日経平均は、月末にかけて上昇ピッチを早めた。この結果、12年の年間の日経平均の上昇率は22.9%となった。

## 今月のトピック：日経平均株価、3つのトリビア

日経平均株価は1950年9月7日に公表を始めた(1949年5月16日まで遡及計算)日本を代表する株価指数。算出開始から60年以上のデータの蓄積があるだけに様々な分析が可能だ。今回のレポートでは、日経平均の長期にわたるデータを使い、年末・年始にちなんだ3つの意外な事例を紹介する。

### バブル後の上昇・下落回数はほぼ同じ？

日経平均株価の最高値は1989年12月末に記録した38915円87銭。1980年代後半のバブル相場のピークとして、その数値を記憶している株式市場関係者は少なくない。2012年は終盤の堅調相場で上昇した1年となったが、日経平均はピークからまだ7割以上低い水準にある。ただ意外なのは、バブル後から大きく下げた水準にもかかわらず、同期間の上昇と下落の日数がほとんど変わらないことだ。90年初から12年末までの5660日のうち、上昇の2812日に対し、下落は2848日とその差は36日しかない。

表1:バブル後上昇・下落回数

	回数	比率
上昇	2812	49.7%
下落	2848	50.3%
合計	5660	100%

### 収益率プラスの18銘柄

1989年末から継続保有して2012年末時点で投資収益率がプラスの銘柄は――。1989年末から日経平均に継続採用の129銘柄について、配当収益も加味したトータルリターンを算出したところ、プラスなのは18銘柄だった。収益率トップは349%(4.49倍)のホンダだった。意外な

表2:トータルリターンランキング(1989年末~2012年末)

順位	コード	銘柄名	トータルリターン	プライスリターン	配当押し上げ
1	7267	ホンダ	348.6%	243.7%	104.9%
2	7751	キヤノン	278.2%	173.8%	104.4%
3	4063	信越化学工業	269.0%	206.7%	62.3%
4	7269	スズキ	165.8%	126.5%	39.3%
5	7203	トヨタ自動車	153.3%	90.8%	62.5%
6	4502	武田薬品工業	152.6%	66.2%	86.4%
7	6301	コマツ	113.0%	58.3%	54.7%
8	7731	ニコン	96.5%	68.4%	28.1%
9	4503	アステラス製薬	73.2%	23.9%	49.3%
10	5108	ブリヂストン	67.3%	31.6%	35.7%
11	6902	デンソー	66.1%	31.3%	34.7%
12	8031	三井物産	30.1%	-7.7%	37.8%
13	4021	日産化学工業	28.7%	-6.4%	35.1%
14	8058	三菱商事	11.6%	-18.1%	29.7%
15	2502	アサヒグループホールディングス	9.8%	-13.8%	23.6%
16	6326	クボタ	5.4%	-24.2%	29.6%
17	2801	キッコーマン	4.4%	-17.3%	21.7%
18	7752	リコー	3.1%	-25.6%	28.7%

のは、同銘柄の株価騰落率（プライスリターン）が 244%で、配当押し上げ効果が 105%もあることだ。18 銘柄中 7 銘柄は、同期間の株価は下げているが、配当収益の効果でトータルリターンがプラスになった。長期投資で配当収益は重要なことの証左ともいえる。因みに、同期間の日経平均トータルリターンインデックスの騰落率はマイナス 65.8%、同期間の日経平均の騰落率を 8 ポイント上回った。

日経平均トータルリターンの紹介ページは[こちら](#)

## イベントと株価

最後にイベントと株価の関係を紹介する。昨年から今年にかけての 7 つのイベントについて、過去同じイベントが起こった年（翌年）の日経平均の騰落（上昇/下落の回数）を調べてみた。最も好成績だったのは、大発会の上昇だ。

表3: イベントと株価騰落(上昇した年の割合)

イベント	騰落の定義	勝率	上昇	下落
大発会上昇	大発会に上昇した年	70%	30	13
米大統領選	選挙翌年(就任初年)	67%	10	5
ノーベル賞	日本人受賞の翌年	62%	8	5
米の作柄	豊作の翌年	62%	24	15
干支	巳年	60%	3	2
日銀総裁	就任初年(または翌年)	58%	7	5
選挙(衆議院)	選挙翌年(改選)	55%	12	10

注: 日銀総裁は98年以降は就任初年(3,4月就任)、それ以前は翌年(11,12月就任)

過去大発会で上昇した 43 回のうち 70%にあたる 30 回はその年上昇した。今年 1 月 4 日、日経平均は大幅上昇した。米大統領選（昨年が選挙で今年が就任初年）の好成績が続いた。

## 日経指数月次サマリー(2012年12月)

○日経平均およびその派生指数

(データは12月末時点)

指数名	指数値	月間騰落率	平均リターン	標準偏差	年初来高値	同日付	年初来安値	同日付
日経平均株価	10395.18	10.05%	0.09%	1.02%	10395.18	12月28日	8295.63	6月4日
日経平均トータルリターン	14793.53	10.20%	0.10%	1.02%	14793.53	12月28日	11663.19	6月4日
日経平均ボラティリティ	22.45	31.21%	0.14%	4.98%	30.93	6月4日	16.71	11月14日
日経平均VIX先物	57264.83	15.98%	-0.22%	3.15%	115929.82	6月4日	46875.39	12月18日
日経平均カバードコール	9951.00	6.43%	0.06%	0.91%	9993.99	3月27日	8166.45	6月4日
日経平均リスクコントロール	12531.09	7.30%	0.06%	0.68%	12531.09	12月28日	10711.47	7月25日
日経平均レバレッジ	5053.59	20.88%	0.18%	2.05%	5053.59	12月28日	3266.86	6月4日
日経平均インバース	5323.30	-9.31%	-0.09%	1.02%	6773.84	1月16日	5323.30	12月28日

指数名	指数値	昨年比	最高値	同対象年	最安値	同対象年
日経配当指数	193.17	7.67%	207.21	2008	81.35	2002

○ベンチマーク、その他指数

指数名	指数値	月間騰落率	平均リターン	標準偏差	年初来高値	同日付	年初来安値	同日付
日経株価指数300	174.34	10.04%	0.07%	1.00%	176.27	3月27日	141.08	6月4日
日経中国関連株50	965.89	11.00%	0.07%	1.28%	1024.28	3月27日	768.10	10月11日
日経500種平均株価	870.07	6.89%	0.07%	0.83%	870.07	12月28日	721.87	6月4日
日経JAPAN1000	1010.02	9.87%	0.07%	0.99%	1025.25	3月27日	818.37	6月4日
日経ジャスダック平均株価	1413.34	3.32%	0.07%	0.50%	1413.34	12月28日	1185.44	1月12日

注: 平均リターン、標準偏差は過去1年の日次騰落率から算出

日経配当指数の昨年比は昨年12月末時点との比較、最高値、最安値は1998年以降の同時点の比較

【ディスクレーム】本資料は信頼できると思われる各種情報、データに基づいて作成しておりますが、その正確性、完全性などに対して日本経済新聞社(日経)は責任を負いません。また本資料に記載された情報を利用したことにより発生するいかなる費用又は損害について、日経は一切その責任を負いません。本資料は、常に最新の情報に更新されていることを保証せず、また予告なく変更することがあります。本資料の一切の権利は日経に属しており、本資料を無断で転載したり第三者にコピー等を流布することを禁じます。

日本経済新聞社 インデックス事業室  
indexes.nikkei.co.jp